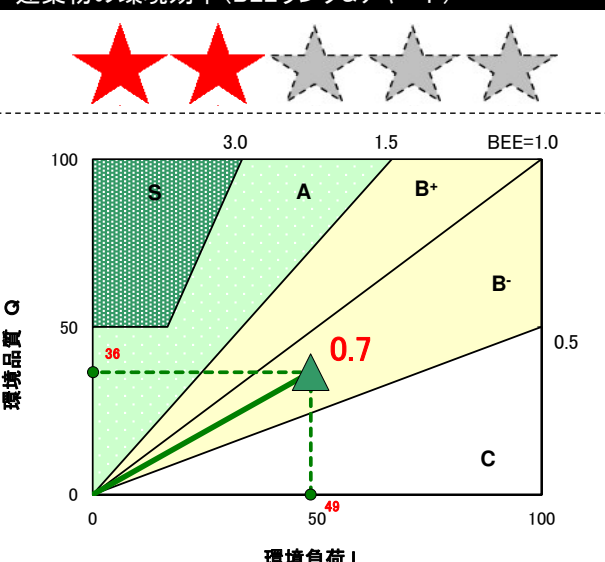


# CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	ホームプラザナフコ南八代店新築工	階数	地上1F		
建設地	熊本県平山新町字北割 5852番1	構造	S造		
用途地域	無指定	平均居住人員	30 人		
気候区分	7地域	年間使用時間	4,015 時間/年		
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2021年5月14日		
敷地面積	13,339 m <sup>2</sup>	作成者	高本		
建築面積	5,209 m <sup>2</sup>	確認日	2021年5月14日		
延床面積	5,186 m <sup>2</sup>	確認者	時川		

## 1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 0.7

■ BEE(環境効率) =  $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$


■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★★
30%超60%以下	★★★★★
60%超80%以下	★★★★
80%超100%以下	★★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能(ランク表示)




排出率

**79%**

## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

**65**

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】 循環型社会の実現

評価点






**73.7**

**58.7**

**47.5**

**69.0**

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ホームプラザナフコ南八代店新築工	階数	地上1F
建設地	熊本県平山新町字北割 5852番1	構造	S造
用途地域	無指定	平均居住人員	30人
地域区分	7地域	年間使用時間	4,015時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2021年5月14日
敷地面積	13,339㎡	作成者	高本
建築面積	5,209㎡	確認日	2021年5月14日
延床面積	5,186㎡	確認者	時川



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 設計上の配慮事項

#### 重点事項総合評価

評価点 = 65

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 73.7	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = #####
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 47.5	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 69.0

#### 重点事項の評価(レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE<sup>®</sup> 熊本《新築》【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

シンプル外観とし周辺に影響の少ない建物として計画を行った。  
又、夜間の照明、騒音など、近隣に迷惑等生じないよう配慮した。

### Q1 室内環境

建築材料はF☆☆☆☆建材を使用し、良好な室内環境に努めた。

### Q2 サービス性能

売場の天井高を高くすることで開放的な空間とした。

### Q3 室外環境（敷地内）

なるべく空地を確保し、緑の量も確保した。又、派手な色彩とはせず、落ち着いた色彩とした。

### LR1 エネルギー

高効率機器を採用し、省エネルギー化に努めた。

### LR2 資源・マテリアル

断熱材はすべてノンフロンを採用した。

### LR3 敷地外環境

適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

### その他

## 熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 ホームプラザナフコ南八代店新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		65
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				73.7	0.40	29.48
Q1-2.1.2	外皮性能	2.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	1.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				58.7	0.20	11.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				47.5	0.20	9.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				69	0.20	13.80
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

## ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

## ◆総合評価結果

$$\text{総合評価点} = (\text{各重点事項の評価点} \times \text{各重点事項の重み係数}) \text{の総和}$$

※重み係数の総和は、「1」であること。

## ◆各重点事項(①～④の項目)

$$\text{評価点} = (\text{各重点項目のスコア} \times \text{各重点項目の重み係数}) \text{の総和} \times (5/4) \times 20$$

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20: スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**ホームプラザナフコ南八代店新築工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		<b>-</b>		<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>				<b>1.8</b>	0.15				<b>1.8</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>			
1.2 遮音				<b>1.0</b>	0.40				
1 開口部遮音性能				<b>1.0</b>	1.00	<b>3.0</b>			
2 界壁遮音性能				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>			
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.9</b>	0.35				<b>1.9</b>
2.1 室温制御				<b>2.8</b>	0.50				
1 室温				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>			
2 外皮性能				<b>2.0</b>	0.17	<b>3.0</b>			
3 ゾーン別制御性				<b>3.0</b>	0.33				
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>			
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>			
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25				<b>3.0</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.50				
1 昼光率				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
2 方位別開口						<b>3.0</b>			
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>			
3.2 グレア対策									
1 昼光制御				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
3.3 照度				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>			
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.7</b>	0.25				<b>3.7</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50				
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の積極的な採用		<b>4.0</b>	1.00	<b>3.0</b>			
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.30				
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>			
2 自然換気性能				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>			
4.3 運用管理				<b>4.0</b>	0.20				
1 CO <sub>2</sub> の監視				<b>3.0</b>	0.50				
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙 喫煙室なし		<b>5.0</b>	0.50				
<b>Q2 サービス性能</b>					<b>0.30</b>				<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.9</b>	0.40				<b>2.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40				
1 広さ・収納性				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
2 高度情報通信設備対応				<b>3.0</b>		<b>3.0</b>			
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00				
1.2 心理性・快適性				<b>2.6</b>	0.30				
1 広さ感・景観		階高: 7.05m		<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>			
2 リフレッシュスペース				<b>2.0</b>	0.33				
3 内装計画				<b>1.0</b>	0.33				
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30				
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	0.50				
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50				
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.8</b>	0.30				<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80				
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		D以上を使用		<b>4.0</b>	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20				
2.4 信頼性				<b>2.4</b>	0.20				
1 空調・換気設備				<b>1.0</b>	0.20				
2 給排水・衛生設備				<b>3.0</b>	0.20				
3 電気設備				<b>3.0</b>	0.20				
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	0.20				
5 通信・情報設備				<b>2.0</b>	0.20				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.2</b>	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:7.05m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	比率:0.06	5.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>2.2</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>1.0</b>	0.20	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.75	<b>4.0</b>	0.50	-	-	<b>4.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.0</b>	0.20	-	-	<b>2.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.7</b>	0.60	-	-	<b>2.7</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.11	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.22	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.22	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	1.0	0.22	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		躯体と仕上材が安易に分別可能(躯体・軽鉄・仕上材)	4.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>4.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤使用なし	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材無	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		省エネ設備の導入	<b>3.8</b>	0.33	-	-	<b>3.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>		燃焼機器使用なし	<b>5.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン一部、広告物照明の取扱いの過半を満足	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	